



## 第3回 岡山県スポーツ吹矢大会

### <開催要項>

開催日 平成27年9月6日(日) 受付9時～

会場 環太平洋大学(I P U) TEL: 086-279-0800

岡山市 東区 矢津 2050-13

第2キャンパス 第3体育館

主催 (一社)日本スポーツ吹矢協会

岡山県スポーツ吹矢協会

共催 岡山県レクリエーション協会

後援 岡山市・山陽新聞社

第1回 <sup>11/8</sup>開催!  
おかやま  
マラソン

おかやまマラソン  
協働事業





## 第3回 岡山県スポーツ吹矢大会 競技規定

### 1. 競技規定と基本動作

- ・日本スポーツ吹矢協会が定める規定と基本動作を順守し競技を行う。
- ・競技進行上の理由により、一部 ローカル ルールを採用する。

### 2. 個人戦（競技距離とラウンド数）

・非会員 原則	6 m	}	4 R（前半2 R／後半2 R）
・ジュニア全員	6 m		
・一般2級以下	6 m		
・1級～二段	8 m		6 R（前半3 R／後半3 R）
・三段以上	10 m		6 R（前半3 R／後半3 R）

### 3. 審判規定

- ・原則、有段者以上での相互審判とする、審判は前半、後半共に2組を継続して審判をする。担当レーン・組は香盤表で確認の事（名札ケースにも入れてます）
- ・審判は、レーン審判・副審判・主審の体制で行く、競技は主審の号令で行う。
- ・レーン審判は担当の競技が始まる前に、所定の席に着き、紅白の旗と競技者の記録票が有ることを確認する。
- ・主審が競技者に対して「位置について」と声を掛けたら、レーン審判は座ったまま紅旗を挙げ、選手の競技体制が整ったら白旗に換え旗を高く上げる。
- ・主審の「用意・初め」の合図で競技を開始し、レーン審判は白旗を降ろす。
- ・競技中審判は選手に対しアドバイスなど声をかけてはならない。
- ・本大会では試矢は行わず、1 R目のみ7本の矢を吹き、高得点の5本の結果を記録票に記入する。2 R以降は5本とする。
- ・本大会では「3分ルール」を適用し、30秒前にタイムキーパーが「30秒前」とアナウンスする。
- ・競技中に「跳ね矢」が出た時は、審判員が選手に跳ね矢と告げ赤旗をあげる。跳ね矢は2本までとし、その吹き直しは3分ルール外とする。
- ・各選手は5本吹き終わったら一礼をして大きく一步下がって、筒を持ったまま静かに待機する。審判は白旗を上げて競技が終了した事を告げる。
- ・主審は3分経過後又は全員が吹き終わったことが確認出来れば「終了・採点」と告げ、審判と選手は速やかに的の前に進み、審判員が得点を確認しながら選手に伝え記録する、この時選手は自らの採点を言うてはならない。異議が有る時は矢を抜く前に審判に申し出る、紛らわしい時は主審に判定してもらう。採点后、記録票の記入内容を確認しチェック入れる、3 R終了したら記録票は的下のカップに投入し、記録係が回収する。
- ・筒の掃除は矢抜き後、次の競技までに速やかに行ない、スタンバイする。
- ・選手は競技中の私語を慎み、また応援者も競技中は選手の集中を妨げない様、私語を慎むこと。
- ・パーフェクトが出た時はその旨を告げ、みんなでその快挙を称えましょう。